

つながる

つながる

April - May 2020

こ ん な **本**



読んでみて

take free No. **82**



目次

つながる つながる 1

Book design の 世界 vol.12 10

ちょこちょこ日記 #22 12



『幾何学模様美しいヒンメリ』

大岡真奈 著

河出書房新社 2018年

754||0 69



ヒンメリはフィンランドの伝統的モビールのこと。この本にはストローで作るヒンメリが紹介されています。ヒンメリが映す光と影の美しさを味わってみてください。

『ちいさな織り機で ちいさなおしゃれなもの』

蔭山はるみ 著

日本ヴォーグ社 2017年

753.3||Ka 18



空き箱など身近なもので織り機を作って、手織りに挑戦！手編みとはまた違った魅力があります。プチ・タペストリーから始めてみませんか？

『はじめての水引アレンジ』

長浦ちえ 著

世界文化社 2016年

594.9||N 24



お祝いなどで目にする水引。POPでおしゃれ、そんな水引の新しい一面を発見できる一冊です。贈り物に添えると華やかに気持ちが伝わるはず。

『レゴでつくろう世界の名建築』

Tom Alphin 著

大野千鶴 訳

エクスナレッジ 2016年

507.9||A 41



名建築をブロックで作ってみた。レゴ建築を通じて建築の歴史や様式を知ることができる一冊。再現度の高さ、圧巻です。

『段ボールはたからもの』

島津冬樹 文と絵

柏書房 2018年

585.56||Sh 46



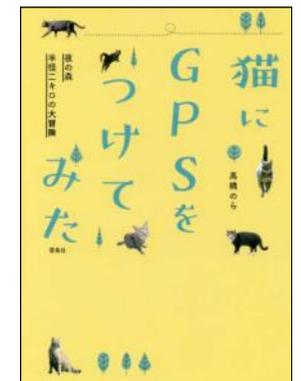
世界で捨てられた段ボールから作られた財布。この財布がまたおしゃれなんです！段ボールから世界をのぞいてみませんか？段ボール愛から始まった、9年間の旅の記録。

『猫にGPSをつけてみた』

高橋のら 著

雷鳥社 2018年

645.7||Ta 33



東京から大分へ引っ越し、始まった猫との生活。里山の景色の中で見つけた猫のいろいろな姿。ふとしたきっかけでGPSを猫につけてみると、猫の大冒険が見えてきた！

『そして生活はつづく』

星野源 著

文藝春秋 2013年

914.6||H 92

星野源さん、初めてのエッセイ集。つづく生活の中の何でもないようなできごと、こんな視点を持つと楽しいかも！読むとそう思えてくる一冊です。



『地図帳の深読み』

瀬今尾恵介 著

帝国書院 2019年

448.9||I 46



地図帳、懐かしい！地形や地名の秘密、新旧地図の比較、地図帳の面白さを再発見できます。しまつてある地図帳を出してきたくくなります。

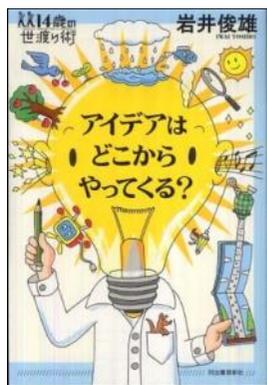
『アイデアはどこからやってくる？』

岩井俊雄 著

河出書房新社 2010年

141.5||I 93

縦に開く絵本『100かいだてのいえ』はどうやって生まれたのか。アイデアの種をどうやって見つけ育てていくのか。これまでの経験を元に分かりやすく教えてくれる一冊。



『メグル』

乾ルカ 著

東京創元社 2013年

913.6||I 59

大学職員にアルバイトを紹介された学生たち。アルバイトはそれぞれに何をもちたすのでしょうか。不思議ただよう連作短編集。「あなたは行くべきよ。断らないでね」



『線は、僕を描く』

砥上裕将 著

講談社 2019年

913.6||To 21



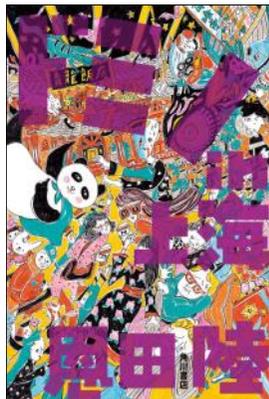
突然、水墨画の巨匠の内弟子となった青山霜介。戸惑いながらも水墨画の世界へ引き込まれていきます。水墨画家である著者だからこそ描けた、美しき水墨画の世界が広がっています。

『ドミノin上海』

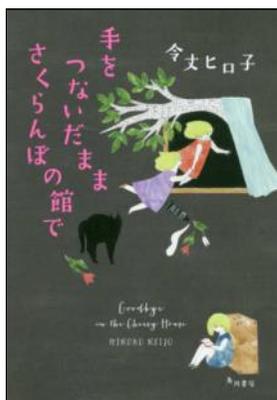
恩田陸 著

KADOKAWA 2020年

913.6||0 65



2001年に出版された『ドミノ』の続編。上海のホテルを舞台に、倒れ始めた25人と3匹の運命のドミノは止まらない。次から次へと押し寄せる怒涛の展開、読みだしたら止まらない。



『手をつないだまま さくらんぼの館で』

今丈ヒロ子 著

KADOKAWA 2018年

913.6||R 25

「あのときなぜ、手をはなさなかったのだろう」

大学生作家の颯太は、洋館・白桜館の管理をするために住み始める。そこに自由奔放な少女、りりなが現れて…。

『いつかの岸辺に跳ねていく』

加納朋子 著

幻冬舎 2019年

913.6||Ka 58



幼なじみの衛と徹子。それぞれの視点で書かれた物語が重なった時、温かな感動に包まれる。「明日を、未来をあきらめないでくれて、ありがとう」

『ふたつの月の物語』

富安陽子 著

講談社 2012年

913.6||To 59



中学2年生の美月と月明は、養子候補として、悲しみのにおいに満ちた別荘に招かれた。二人には秘密が隠されていた…。

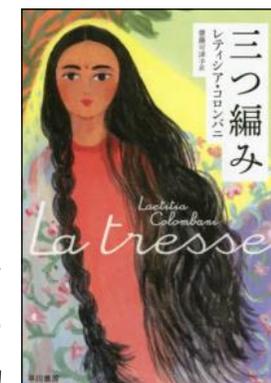
『三つ編み』

レティシア・コロバンニ 著

齋藤可津子 訳

早川書房 2019年

953.7||C 84



インド-スミタ。イタリア-ジュリア。カナダ-サラ。無関係にも思われた三人の女性の物語がつながっていく。人生が編み上げる物語に心打たれる一冊。

『永い夜』

ミシェル・レミュー 作

森絵都 訳

講談社 1999年

726.6||L 54



眠れない夜、どんなことを考えますか？「人生って最初から決められているもの？」「わたしたちはどこからきたの？」頭の中をめぐる問いやつぶやきに向き合うことができる一冊。

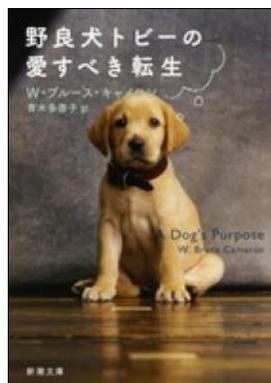
『野良犬トビーの愛すべき転生』

W・ブルース・キャメロン 著

青木多香子 訳

新潮社 2012年

933||C 14



野良犬のトビーは生まれ変わり、少年イーサンにベイリーと名付けられる。生まれ変わりゆく魂は様々な出会いを経て、再び巡り合う。命の旅の物語。

『出会いなおし』

森絵都 著

文藝春秋 2017年

913.6||Mo 45



「年を重ねるということは、同じ相手に何回も出会いなおすということだ」出会い、別れ、再び出会う。人生の中の特別な場面を切り取った6つの物語。



『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ 著

文藝春秋 2018年

913.6||Se 76



17歳の優子は、水戸、田中、泉ヶ原、森宮、4回も苗字が変わったけれど「全然不幸ではないんだ」。読むと気持ちがやわらかくなります。

『あさになったので まどをあけますよ』

荒井良二 著

偕成社 2011年

726.6||A 62



「きみのまちは はれてるかな？」あたらしい一日のはじまり。一人一人ちがう朝。あなたの窓の外には、どんな朝の風景が見えますか？前向きな気持ちになれる絵本。

Book design

の世界

vol.12

宮口 瑚さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第12回目は、宮口 瑚さんです。



装画：ラムネチョコ

はじめに紹介するのは『**早朝始発の殺風景**』（青崎有吾著／集英社／2019年／913.6||A 56）です。5話+エピローグからなる、青春ミステリーです。「小説すばる」での連載時より挿絵を手がけていたラムネチョコさんによる装画です。早朝の澄んだ空気を感じさせるイラストの表紙を開くと、黄色のざらざらした手触りの見返しが現れ、やわらかな空気の中、物語が始まっていきます。



装画：奥田亜紀子

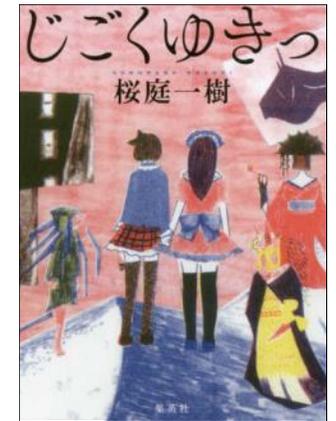
『**青春のジョーカー**』（奥田亜希子著／集英社／2018年／913.6||O 54）。中学3年生の基哉が主人公のこの作品の装画は、漫画家の奥田亜紀子さんによるものです。制服姿の生徒たちが、カバー一面に描かれています。この装丁から、大人になることに対する何とも言えない不安や葛藤が感じられます。



写真：福岡正宏

次の『**星に願いを、そして手を。**』（青羽悠著／集英社／2017年／913.6||A 51）は、小説すばる新人賞を史上最年少の16歳で受賞した青羽悠さんのデビュー作です。少年の横顔にかかっている、かすれた文字のタイトルに、切実な思いを感じます。表紙、見返し、表題紙と続く、美しい青色のグラデーションに、物語への期待が高まる装丁です。

『**じごくゆきっ**』（桜庭一樹著／集英社／2017年／913.6||Sa 46）は、青春あり、SFありの短編集です。カラフルさの中に毒っ気が感じられる装画は松本沙希さんによるものです。作品の持つダークな世界観に引き込まれます。



装画：松本沙希

今回最後に紹介するのは『**大人は泣かないと思っていた**』（寺地はるな著／集英社／2018年／913.6||Te 42）です。海の音が聞こえてきそうな爽やかな装画は黒坂麻衣さんによるもの。にじんだような文字が絵に馴染んでいて、印象的なタイトルが心にまっすぐ届きます。



装画：黒坂麻衣

今回紹介した本は、どれも思わず本に惹きつけられる、そんな装丁ばかりでした。本の魅力にそっと寄り添うような宮口瑚さんの装丁。これからも注目です。



ちょこちょこ日記 #22 「小さな質問」

「こんな本読んでみて」を読んでくれたあなたへ

10個の小さな質問です。

- ごはんはかためが好き？やわらかめが好き？
- 納豆にからしは入れる？入れない？
- おにぎりののりはパリパリ派？しっとり派？
- こしあん派？つぶあん派？
- 犬派？猫派？それとも？
- 音楽は何で聞く？CD？ラジオ？サブスク？
- 映画を見るなら、洋画？邦画？
- 小説を読むなら、外国の作品？日本の作品？
- 好きな色は暖色系？寒色系？
- 好きな季節は？春？夏？秋？冬？

心の中で答えてくれたあなた。ありがとうございます。

よかったら近くの誰かにも小さな質問をしてみてくださいね。

こんな本読んでみて No.82

2020年4月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>